

# フットサルで深まる絆 不登校経験者も熱戦

第一学院

全国に50キャンパスを持つ広域通信・単位制高校の第一学院高等学校のフットサル大会「METS DALIHI CUP2015」が9月18日に都内で開催された。当日は、全国8プロックの予選で1位となった男女各8チームが出場。11回目の今年は男子・高崎校、女子・埼玉校が優勝した。

同校は、夢の実現と学業との両立を目指す生徒や、不登校・高校中退を



経験した生徒が多く在籍。卒業生にはサッカー日本代表の香川真司選手などもおり、夢を叶える道の後押しする。

フットサル大会は、生徒同士だけでなく生徒と社員（先生を含めた運営スタッフなど）も一つになって取り組むもの。予選で敗退した学校の手作り応援旗も体育館に飾られ、生徒らがこの大会に強い思いを持っていることが伝わった。

閉会式で竹下副理事長は、大会を支えてくれた多くの協賛企業や専門学校、審判、保護者への感謝を述べ「例年以上にフェアプレイのさわやかな試合が多かったのが印象的。チームを作り上げていく上で様々な葛藤もあったと思うが、社会で必要な力が身につけていくだろう」と述べた。

PK戦でも結果が出ず、サドンデスを制した男子・高崎校のキャプテン森下大地さんは「プレー以外の部分で課題もある中、チームワークが少しずつついてきて優勝できました。良いチームができてうれしい」と喜ぶ。